

第 21 回 《なかしん ふるさと賞》

贈 呈 式



と き

令和元年 10 月 25 日（金曜日）
午前 11 時 00 分より

ところ

「ザ・セレクトンプレミア神戸三田ホテル」
三田市けやき台 1 丁目 11 番 2

第 21 回 《なかしん ふるさと賞》 贈 呈 式

1 部 式 典

■ 式 次 第

1. 開会の辞
2. 理事長挨拶
3. ふるさと賞の趣旨・選考経緯の説明
4. 表 彰
5. 祝電披露
6. 閉会の辞

※ 写真撮影

2 部 披 露 の 宴

1. 開宴挨拶
2. 受賞者代表挨拶
3. 乾 杯

開 宴

ごあいさつ

秋たけなわの候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当金庫は、本年10月1日をもちまして創立50周年を迎えることができました。これもひとえに育んでいただいた地域の皆さま方のご支援、ご愛顧の賜と心から感謝申し上げます。

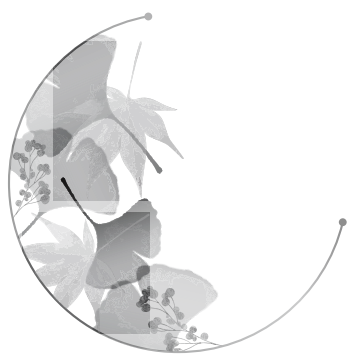
このたび、当金庫の営業地域でお仕事や社会活動を通じてご活躍されている方々に第21回目の「なかしんふるさと賞」を贈らせていただき、広くご紹介させていただくことと致しました。

受賞されました方々に心よりお祝いとお慶びを申し上げ、益々ご活躍されますことをお祈り致します。

中 兵 庫 信 用 金 庫

理 事 長

足 立 厚 郎



《なかしんふるさと賞》 ご受賞者名 (敬称略・順不同)

1. 商工業部門

該当 店舗名	お 名 前	ご 住 所	ご 功 績
青 垣	御 菓 子 司 荒 木 本 舗	丹 波 市	地域を代表する老舗和菓子店であります。創業から60年近くになり、季節感ある和菓子を多数販売され、地域名産をモチーフにした商品開発や丹波地域の風土が生み出す地産素材である丹波栗・丹波大納言小豆・丹波白雪大納言・黒豆大豆納豆・ブルーベリーなどを使い、四季折々の生菓子・銘菓を、心を込めて手作りされています。
市 島	長 岡 機 械 株 式 会 社	丹 波 市	自動車エンジン部品等の金型モールドベース加工を主業とされています。会社設立より50年、平成8年には尼崎市から本社機能も市島工場に移転され、本社移転から23年になります。従業員は地元採用の熟練工が多く地域にとって安定した雇用創造企業となっています。モールドベースは製造金型の土台部分であり用途に応じ大小様々で、製造現場になくてはならないものです。製品のモデルチェンジのたびに金型を替えねばならず、高い技術力で日進月歩の製造現場を支えておられます。
城 東	茅 茸 職 人 後 藤 榮 勝	丹波篠山市	昭和32年に18歳で茅茸の世界に入られました。お父様の勧めで丹波篠山市内の6人の親方のもとで修業を続けられ、平成11年60歳の時に一人前として現場を任されるようになった茅茸職人です。60年以上この道に携わり、丹波地域では唯一の存在となっておられ、年間10件程度の吹き替え工事を行っておられます。現在、弟子4名に技術伝承を行っておられます。
神戸北支店	有 限 会 社 大 矢 商 店	神 戸 市	神戸市北区淡河町にて在来種生芋100%のこんにゃくを製造されています。現在のこんにゃくのほとんどがこんにゃく粉から製造されていますが、同社は生芋からの製造に強いこだわりを持たれ、稀少品種となった風味豊かな在来種を守ることにもつながっています。昭和元年の創業で、90年以上の業歴があり、現代表者で3代目となります。4代目に引き継ぐべく後継指導されています。

2. 伝統工芸・文化部門

該当 店舗名	お 名 前	ご 住 所	ご 功 績
谷 川	応 地 自 治 会 「 応 地 ・ 蛇 な い 」	丹 波 市	大歳神社の神事として、毎年1月初旬に村人が新藁を持ち寄り、長さ約15m・太さ15cmの蛇を編み上げます。この「蛇」には、村の前を流れる加古川の氾濫が起きないようにとの願いや、被害を最小限にとどめたいとする一種の魔除けの意味が込められています。編み上げた蛇は村人に担がれ、五穀豊穡・無病息災を願い各戸を訪問し神社に奉納されます。応地自治会で江戸時代から続くと言われており、丹波市の無形文化財に指定されています。
市 島	丹波市立吉見小学校 金 管 バ ン ド	丹 波 市	設立から39年目を迎えた金管バンドは、保護者や地域の皆さんに大切に支えられ、世代を超えた地域の「宝」となっています。現在は5・6年生が運動会や音楽会などの学校行事はもとより、地域行事である市島川裾まつりやユニセフ募金活動、特別養護老人ホーム「丹寿荘」を訪問しての演奏を通じて、地域に元気と笑顔を届け続けておられます。

該当 店舗名	お 名 前	ご 住 所	ご 功 績
中 町	多 可 町 播 州 歌 舞 伎 ク ラ ブ	多 可 町	平成 6 年に一般住民や「中町北小学校播州歌舞伎クラブ」の卒業生を中心にクラブを発足され 25 年になります。播州歌舞伎を今日まで唯一継承してきた「嵐獅山一座」に師事され、地元をはじめ県内外で公演活動が続けられています。平成 30 年度には兵庫県「ともしびの賞」を受賞され、失われつつあるふるさとの誇る伝統芸能の保存・継承活動に取り組んでおられます。
新 三 田	造 形 作 家 新 宮 晋	三 田 市	昭和 12 年大阪生まれで、東京芸術大学絵画科を卒業後イタリアに留学、動く造形を始められました。以来風や水といった自然エネルギーで動く彫刻を世界各地に作り続けておられます。多くの絵本や、オリジナルの舞台作品も発表され、平成 26 年兵庫県立有馬富士公園 休養ゾーンにオープンした「新宮 晋 風のミュージアム」には風で動く彫刻 13 点が常設展示され、ここで年 2 回の野外公演を催されています。紫綬褒章、旭日小綬章を受賞されました。

3. ボランティア部門

該当 店舗名	お 名 前	ご 住 所	ご 功 績
篠 山	保育ボランティア 「 コ ア ラ 」	丹波篠山市	30年近く、地域の中で保育ボランティアを行ってこられました。子どもたちと触れ合い・元気をもらい・癒されながら、子どもたちの命を預かる事なので、使命感や責任感を感じながら活動されています。長年の活動の中では、災害時にも派遣をされた事もあります。講演会や研修会にお母さんたちが安心して参加出来るよう、その間に子どもを預かるなど、30代から70代の幅広い年齢層で構成され、年間50回以上のボランティア活動をされています。
三 田 中 央	読 み 聞 か せ の 会 「 わ ら べ 」	三 田 市	平成11年4月に発足され、20年という長きにわたり絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び、歌などを通して、子ども達の健全な育成に貢献されてきました。また、小学校・保育所・高齢者・障がい者施設等にも訪問活動され、世代を超えて絵本などを通して、それらに広がる豊かな世界を共有し、人と人との交流を深める活動を行われております。
三 木	点 訳 サ ー ク ル 「 あ い 」	三 木 市	点訳活動に通じ、視覚障がい者の方との繋がりを大切に、視覚障がい者の方との交流を目的に昭和 58 年 10 月に結成されました。発足後 36 年にわたり、視覚障がい者の方からの依頼のあった図書などの点訳活動を行っておられます。また、三木市の情報出版物（「広報みき」など）及び、一般図書の点訳活動、点訳技術の普及活動も行っておられ、地域に貢献されています。

過去5年間のご受賞者名 (敬称略・順不同)

第16回 (平成26年)

お 名 前	ご住所
1. 商工業部門	
(株) ヒ ロ オ カ	丹 波 市
医 療 法 人 社 団 山 ゆ り 会	篠 山 市
マ イ ス タ ー 工 房 八 千 代	多 可 郡
(株) ま ち づ く り 柏 原	丹 波 市
(株) 福 井 工 業	西 宮 市
2. 伝統工芸・文化部門	
丹 波 市 郷 土 民 踊 保 存 協 会	丹 波 市
熊 野 新 宮 神 社 の 八 朔 祭	篠 山 市
牧 文 化 財 保 存 会	福 知 山 市
3. ボランティア部門	
劇 研 ・ 椎 の 実	丹 波 市
あすなろ腹話術サークル「ニコニコ」	三 田 市

第17回 (平成27年)

お 名 前	ご住所
1. 商工業部門	
(株) 清 明 堂	篠 山 市
細 見 鉄 工 (株)	丹 波 市
(株) 村 上 社 寺 工 芸 社	丹 波 市
ま さ る 針 本 舗 (横 山 優)	丹 波 市
(株) 丸 萬	西 脇 市
(株) 川 上 商 店	神 戸 市
2. 伝統工芸・文化部門	
太 田 檜 雲 堂 (太 田 嘉 久)	丹 波 市
市 島 町 史 実 研 究 会	丹 波 市
3. ボランティア部門	
足 立 悦 子	丹 波 市
外出介助ボランティア「かけはし」	三 田 市
手 話 サ ー ク ル 「 み き 」	三 木 市

第18回 (平成28年)

お 名 前	ご住所
1. 商工業部門	
(株) 山 下 紋 次 郎 商 店	丹 波 市
神 戸 高 見 牛 牧 場 (株)	丹 波 市
き ね や 菓 舗 (藤 本 英 憲)	三 田 市
本 庄 豆 腐 店 (本 庄 康 員)	丹 波 市
(株) 箸 荷 牧 場	多 可 郡
森 口 昌 英	篠 山 市
三 住 興 産 (株)	三 田 市
千 代 鶴 貞 秀 (神 吉 岩 雄)	三 木 市
2. 伝統工芸・文化部門	
上 新 庄 式 三 番 叟 保 存 会	丹 波 市
春 日 戦 国 太 鼓	丹 波 市
中 町 南 小 学 校 鶏 合 わ せ	多 可 郡
3. スポーツ部門	
岡 崎 健 一	丹 波 市
4. ボランティア部門	
手 話 サ ー ク ル 「 た ん ぽ ぽ 」	篠 山 市
大 正 琴 「 ミ モ ザ 」	三 田 市

第 19 回（平成 29 年）

お 名 前	ご住所
1. 商工業部門	
(株) 芦 田 ポ ー ト リ ー	丹 波 市
藤 原 一 次	丹 波 市
(株) 三 ツ 丸 ス ト ア	福 知 山 市
田 淵 清 彦	篠 山 市
大 城 戸 諒 一	西 脇 市
イ ン ス タ イ ル (株)	三 木 市
2. 伝統工芸・文化部門	
能 楽 大 倉 流 小 鼓 方 上 田 敦 史	丹 波 市
棚 原 相 撲 甚 句 保 存 会	丹 波 市
出 井 和 典	加 東 市
3. ボランティア部門	
福 知 山 手 話 サ ー ク ル 「こ づ ち」	福 知 山 市
宙 を み あ げ て	三 田 市
朗 読 ボ ラ ン テ ィ ア 「む れ の 会」	三 木 市

第 20 回（平成 30 年）

お 名 前	ご住所
1. 商工業部門	
日 本 紙 器 (株)	丹 波 市
(株) コ ー ユ ー	西 宮 市
社 会 福 祉 法 人 和 寿 園	篠 山 市
2. 伝統工芸・文化部門	
沢 田 八 幡 鱧 切 り 祭 り	篠 山 市
一 般 財 団 法 人 神 楽 自 治 振 興 会	丹 波 市
兵 主 神 社 例 祭	西 脇 市
西 戸 百 石 踊 保 存 会	加 東 市
3. スポーツ部門	
丹 波 市 三 ツ 塚 マ ラ ソ ン 大 会 実 行 委 員 会	丹 波 市
田 中 希 実	小 野 市
4. ボランティア部門	
久 須 美 一 雄	丹 波 市
乗 竹 か わ ら 版 を つ く っ て み よ う 会	篠 山 市
福 知 山 平 安 レ デ ィ ー ス	福 知 山 市
対 面 音 訳 ボ ラ ン テ ィ ア 「つ む ぎ の 会」	三 田 市

